

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年10月15日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 森 園 秀 一



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森 園 秀 一 議員
- 2 期 間 令和6年11月12日（火）～ 令和6年11月14日（木）
- 3 場 所 沖縄県国頭郡本部町、沖縄県名護市
- 4 目的及び内容
 - ・ 沖縄美ら海財団管理運営施設（沖縄美ら海水族館）
沖縄美ら海水族館について（施設見学等）
 - ・ JAMSTEC国際海洋環境情報センター（GODAC）
GODACについて（座学・施設見学等）

5 支出可能額（上限額） 84,290円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行	11/12	本八戸駅前発 7:45	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	11/12	県庁前駅着 17:33	早見表					
帰	11/14	県庁前駅発 9:56						
	11/14	本八戸駅前着 17:15						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃				
				急行料金	特			
					急			
				特別車両料金				
				航空運賃		1 43,100	43,100	三沢空港⇄羽田空港⇄那覇空港（往復）
				連絡バス		2 1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港
				ゆいレール		2 270	540	那覇空港駅⇄県庁前駅
				貸切バス※		1 12,650	12,650	宿泊ホテル⇄視察先
				宿泊料	2	12,500	25,000	11/12, 13 那覇市内泊
				小 計			84,290	
				合 計（小計×人数）			84,290	1 名

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

$$151,800 \text{ 円（総額）} \div 12 \text{ 名（参加人数）} = 12,650 \text{ 円}$$

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【森園議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月 日	行 程	宿泊地
11月12日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152) → 羽田空港 → 11:05着/14:15発 17:00着/17:20発 (JAL917) → 那覇空港 → (ゆいレール) → 県庁前 → (移動) → ホテル	ホテルコアラ
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 9:55着/12:40発 沖縄美ら海財団管理運営施設 (視察・昼食) (※バックヤード視察等) 13:25着/14:00発 → 名護市役所 → (貸切バス) → 14:25着/16:30発 → GODAC → (貸切バス) → 18:30着 → ホテル 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察 (バックヤード視察等) 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察	ホテルコアラ [那覇市松尾 1-1-2] 098-868-6578
11月14日 (木)	9:56発 県庁前 → (ゆいれーる) → 那覇空港 → 10:09着/11:20発 → (JAL904) → 羽田空港 → 13:35着/14:55発 → (JAL157) → 三沢空港 → 16:10着/16:25発 → (連絡バス) → 17:15着 本八戸駅前	

令和6年12月27日

会派名 自由民主・無所属クラブ
代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 森 園 秀 一



調査視察等報告書

令和6年10月15日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 森 園 秀 一 議員
- 2 期 間 令和6年11月12日(火) ～ 令和6年11月14日(木)
- 3 場 所 沖縄県国頭郡本部町、沖縄県名護市
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 支出額 78,550円
- 6 概 要 別紙のとおり

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【森園議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月 日	行 程	宿泊地
11月12日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → 8:40着/9:40発 → (JAL152) → 羽田空港 → 11:05着/14:15発 → 17:00着/17:20発 (JAL917) → 那覇空港 → (ゆいレール) → 県庁前 → 17:33着 → (移動) → ホテル	ホテルロコアナハ 那覇市松尾 1-1-2 098-868-6578
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 9:55着/12:40発 沖縄美ら海財団管理運営施設 (視察・昼食) (※バックヤード視察等) 13:25着/14:00発 → 名護市役所 → (貸切バス) → 14:25着/16:30発 → (貸切バス) → 18:30着 ホテル 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察 (バックヤード視察等) 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察	
11月14日 (木)	9:56発 県庁前 → (ゆいれーる) → 那覇空港 → 10:09着/11:20発 → (JAL904) → 13:35着/14:55発 → 羽田空港 → (JAL157) → 16:10着/16:25発 → 三沢空港 → (連絡バス) → 17:15着 本八戸駅前	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	8-1(2)
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No. 123666

2024年12月27日

森園 秀一 様

金 額	¥ 78,550
-----	----------

但し前記機内食料代として(11/12~14)

10%対象(税込) 78,550 0%対象

内 消費税 2,141 円 上記の金額正に領収致しました。



現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

請 求 書

森園 秀一 様

令和6年10月10日

北日本トラベル株式会社

店長 大仁保 正人

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りご請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

参加人員 大人 1 名 計 1 名
ご旅行期間 令和6年11月12日～11月14日
ご旅行方面 沖縄県 名護市 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 78,550 円

明細内訳

項目	人員	ご利用 単価		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	43,100			43,100	11/12～14. 三沢～羽田～那覇(往復)
宿泊代	1	22,800	2泊		22,800	ホテルロコアナハ 朝食付DXシングル
バス代	1	12,650			12,650	11/13 視察時移動利用
明細金額小計					78,550	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					78,550	消費税10% 7,141円

特記事項

視 察 調 査 報 告 書

日 時

令和6年11月12日(火)～14日(木)

視 察 調 査 地 等

1 沖縄美ら島財団（沖縄美ら海水族館）

住所 ： 国頭郡本部町石川424番地

TEL ： 0980-48-3748

2 国際海洋環境情報センター

住所 ： 沖縄県名護市字豊原224-3

TEL ： 0980-50-0111

参 加 議 員

森園 秀一

視察調査概要

◎ 視察目的

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、同センターの膨大な研究・観測データの成果情報を発信することなどを目的として、沖縄県名護市に国立海洋環境情報センター（GODAC）を設置しているが、同センターでは、沖縄県にある一般財団法人美ら島財団と「海洋科学における連携・協力に係る協定」を締結し、同財団が運営する美ら海水族館において、海洋に関する学術研究及び科学技術の振興、海洋教育の発展に向けた取組を行っている。

当市においては、JAMSTEC と連携し、海洋 STEAM 教育の教材の開発及び活用や八戸市水産科学館マリメントにおける「ちきゅう」情報館及び「ちきゅう」たんけんクラブに取り組んでいることから、同センターにおける実施事業、同協定に基づき同センターと美ら海水族館が連携して取り組む事例などを学ぶことで、当市での JAMSTEC と連携した取組のより一層の充実につなげるとともに、海洋教育の発展などに向けた更なる推進に向けた取組検討の参考とするため視察を行うものである。

◎ 視察概要

1 沖縄美ら島財団（沖縄美ら海水族館）

○ 視察対応者

国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 菊池 聡

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 国立海洋環境情報センター（GODAC）
センター長 園田 朗

○ 視察内容

海洋科学における連携・協力に係る協定に基づき GODAC と美ら海水族館での連携した取組内容について、館内の展示内容を案内いただきながら、説明を受けるとともに、随時、議員から対応者 2 名に対して質疑を行った。

(1) GODAC と一般財団法人美ら島財団との協定概要について

- ・協定名称：海洋科学における連携・協力に係る協定
- ・締結日：令和元年 10 月 17 日（令和 4 年に更新）
- ・締結目的：海洋に関する学術研究及び海洋技術の振興、海洋教育の発展に寄与すること
- ・連携事項：学術研究に資すること、海洋生物等の調査データ等の共有、普及啓発・広報活動両者が共同で実施する事業
- ・主な取組等：①両者が持つ海洋情報、生物に関する知的資源の共有、情報の発信による二次研究への貢献
②沖縄の海洋生物の生態、生態系、海洋研究の保全などの学術研究成果の創出
③企画展の開催、海洋・環境に関する理解増進プログラムの共同開発など

(2) GODAC と美ら海水族館との連携概要

GODAC では、当該協定を活用し、同水族館と連携して企画展の実施などにより、以下の内容に取り組み、締結目的である海洋教育の発展等の推進を図っている。

- ・ しんかい 6500 の模型展示
- ・ 深海生物映像の貸出
- ・ ノベリティグッズやポスターの共同制作
- ・ スタンプラリーの実施
- ・ 深海生物とのふれあい体験
- ・ 深海の知識を深める講演や実験
- ・ 小型の水中カメラロボットの操作体験
- ・ 同水族館内の深海エリアに関する標本展示 など

(3) 美ら海水族館以外の一般財団法人美ら島財団との協定に係る取組

協定に基づく取り組みは、同水族館を活用した取組以外にも、以下の取組を展開している。

① ALL やんばる学びのまちプロジェクトにおける連携協力対応

地域貢献体制の構築、人材育成への寄与、情報発信機能の強化を目的とし、名護市教育委員会ほか GODAC や美ら島財団を含む 11 団体が参画。出前事業の対応や将来の科学技術人材の発掘などに取り組むプロジェクトであり、当該プロジェクトにおける人材育成における事業などにおいて、連携を図っている。

② 市内小学校理科クラブへの授業提供 (2016 年より開始)

ALL やんばるプロジェクトの参画機関として連携を図りながら、それぞれの得意分野のプログラムを授業として提供。

③ 沖縄県科学人材育成事業への連携協力対応

高校生向け宿泊型講座「サイエンスティックカレッジ 2024」において、学習プログラムを共同で開発及び講座実施。

2 国際海洋環境情報センター

○ 視察対応者

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 国立海洋環境情報センター (GODAC)
センター長 園田 朗

○ 視察内容

(1) 気候変動と海洋研究

気候変動が漁業や海洋生態系に与える影響についての議論が行われ、データを活用した予測や対策が求められている。特に、海洋環境のデータを活用した漁業資源の管理や養殖業の効率化が重要視されている。

・ 気候変動の影響

アジアの気候変動によるマラリアの流行予測が可能になっている。南アフリカなどの国際的な影響が大きい。

・ 海洋環境データの活用

海洋環境のデータを活用して漁業資源の管理が行われている。養殖業における餌やりのタイミングを画像解析で最適化する取り組みが進められている。

(2) 沖縄の産業振興と IT 産業

沖縄の産業振興策として、IT 産業の集積が進められており、名護市を中心に様々な企業が誘致されている。特に、データベースの利用やシステム開発が重要な役割を果たしている。

・ IT 産業の集積

名護市を中心に IT 産業の集積が進められている。データベースの利用やシステム開発が進行中。

・ 沖縄北部の特別振興対策

沖縄北部における特別振興対策事業が進行中。名護市が中心となり、IT 産業の集積が進められている。

(3) データベースと情報発信

海洋生物や生物多様性のデータベース化が進められており、国際的なデータ交換が行われている。特に、ゴミ問題に関するデータベースが注目されている。

・ 海洋生物データベース

海洋生物のデータベースが国内唯一のものとして運用されている。政策決定の科学的裏付けとしてデータが活用されている。

・ ゴミ問題データベース

ゴミ問題に関するデータベースが構築され、国際的に注目されている。プラスチック問題に関連するデータが抽出され、別のデータベースとして運用されている。

(4) 地域との連携と教育

地域の教育機関や企業と連携し、教育プログラムや研究活動が進められている。特に、自由研究や修学旅行プログラムの開発が行われている。

・ 教育プログラムの開発

名護市の教育委員会や沖縄高専と連携して教育プログラムが開発されている。自由研究や修学旅行プログラムの開発が進行中。

・ 地域との連携

沖縄の大学や高専と連携し、地域との交流授業が行われている。観光振興の一環として、地域と連携したプログラムが開発されている。

(5) 教育とスマートシティ

教育とスマートシティに関する取り組みが議論され、特にスマートシティ構想における教育ワークと観光ワークの参加が強調された。

・ 教育ワークと観光ワークの参加

スマートシティ構想に関連して、教育ワークと観光ワークに参加している。毎年1月か2月にスマートシティイベントを名護市が主催し、そこで活動を紹介する。

- ・学校教育の課題

進行：学校の先生の働き方にストレスがあり、新しいことを受け入れるのに抵抗がある。

問題とリスク：学校の先生が新しい教育方法を受け入れるのに抵抗がある。

次のステップ：教科の中に新しい教育方法を取り入れる。

(6) 海洋部門における IT 技術者の育成

海洋部門で活躍する IT 技術者の育成に関する課題が議論され、特に人材不足が問題視された。

- ・海洋学教育の課題

海洋学は学際的な学問であり、物理、化学、生物学が必要。海洋学に特化した教育が不足している。

- ・IT 技術者の不足

IT 系の技術者が不足しており、民間企業の給与が高いため応募者が少ない。

IT 技術者の不足が深刻。

(7) データ連携と生物多様性

データ連携と生物多様性に関する取り組みが議論され、特にデータの交換と活用が強調された。

- ・生物多様性データの交換

生物多様性データを扱うオービスの日本代表を担当。

- ・データ連携基盤ツールの開発

データ提供、連携基盤ツールであるダックスを開発中。

(8) 教育と地域振興

教育の現場での新しい取り組みと地域振興の連携について議論された。特に、名古屋市のスマートシティコンソーシアルや地域経済部の役割が強調された。

- ・小学校との協力

進行：近隣の小学校と協力し、学校のスペースを活用して定期的に検診を行う取り組みが進行中。

問題とリスク：短時間の単発の取り組みでは効果が持続しにくい。

次のステップ：学校のスペースを活用し、定期的に検診を行い、疑問に答える Q&A コーナーを設ける。

- ・名古屋のスマートシティコンソーシアル

名古屋市のスマートシティコンソーシアルにおいて、教育ワーキングと観光ワーキングが進行中。スマートシティ関連の IT 研究を進める。(2025 年 04~)

- ・地域経済部の役割

地域経済部が経済の環境や都市についての取り組みを進めている。

(9) 海洋学と IT 技術者の育成

海洋学の教育と IT 技術者の育成に関する課題と取り組みが議論された。

特に、海洋学の学際的な教育の必要性と IT 技術者の確保が強調された。

- ・海洋学の教育

進行：海洋学は物理、生物学、地理学といった既存の教科の中で教えられている。

問題とリスク：海洋学に特化した教育が少なく、学生の関心が低下している。

次のステップ：海洋学を既存の教科に組み込み、学生の関心を引きつける。

- ・IT技術者の育成

進行：IT技術者を確保するための取り組みが進行中。

問題とリスク：IT技術者の応募が少なく、必要な人材を確保するのが難しい。

次のステップ：IT技術者を育成し、海洋研究に活用する。

～ 所感 ～

今回の視察では、JAMSTEC と連携した海洋教育の推進に向けた貴重な知見を得ることができたと思っている。

国際海洋環境情報センター（GODAC）が展開する「オールやんばる学びのまちプロジェクト」や市内小学校の理科クラブへの事業提供、沖縄県科学人材育成事業など、多様な取組が紹介され、地域との連携による海洋教育の発展の重要性を再認識したところである。

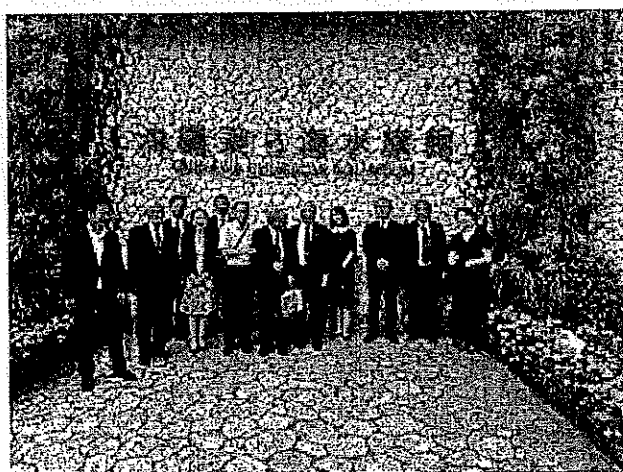
また、気候変動と海洋研究・海洋環境データの活用、沖縄県の産業振興と IT 産業の集積、データベースの整備、教育とスマートシティの関係性など、多岐にわたる連携の事例が示されました。

当市においては、JAMSTEC 様との連携・協力を一層深め、海洋 STEAM 教育の充実とこれらに係る人材育成を推進していくことが求められます。

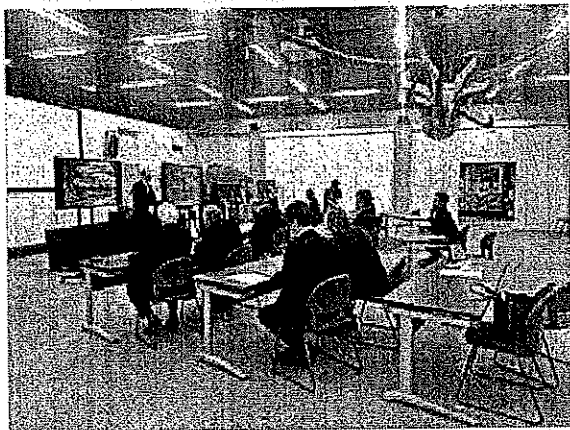
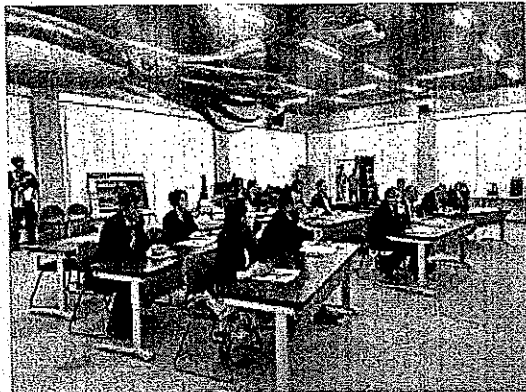
今後、GODAC や美ら海水族館の事例を参考にしながら、持続可能な海洋教育の発展に向けた取組を検討していきたい。

【視察の様子】

1 美ら海水族館視察



2 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年11月25日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 上 条 幸 哉



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 上 条 幸 哉 議員
- 2 期 間 令和6年11月27日（水）～ 令和6年11月28日（木）
- 3 場 所 岐阜県多治見市
- 4 目的及び内容 多治見市陶磁器意匠研究所について

- 5 支出可能額（上限額） 76,160円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎						
行 き	11/27	八戸駅発	13:07	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
	11/27	多治見駅着	18:43	早見表						
帰 り	11/28	多治見駅発	16:33							
	11/28	八戸駅着	22:05							
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		1034.1k	12,870	23,160	八戸⇄多治見(往復割引)	
				急 行 料 金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
							2	▲200	▲400	閑散期割引
							2	4,390	8,780	東京⇄名古屋 366.0k
						急				
				特別車両 料 金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
							2	4,190	8,380	東京⇄名古屋 366.0k
				航空運賃						
				高速バス						
				私 鉄 等						
				宿泊料		1	12,500	12,500	11/27、多治見市内泊	
小 計						76,160				
合 計 (小計×人数)						76,160	1名			

上条議員（自由民主・無所属クラブ） 政務活動による視察行程

■日程 令和6年11月27日（水）～令和6年11月28日（木）

■場所 岐阜県多治見市

月日	行程					宿泊先
11/27 (水)	八戸駅 JR新幹線 はやぶさ24号 東京行 (177分) 13:07発	東京駅 JR新幹線 のぞみ47号 博多行 (96分) 16:04着 16:12発	名古屋駅 JR中央本線快速 中津川行 (36分) 17:48着 18:07発	多治見駅 移動 18:43着 18:50発	宿泊先 19:00着	多治見市内
11/28 (木)	宿泊先 移動 13:00着 15:30発	多治見市陶磁器意匠研究所 移動 16:00着 16:33発	多治見駅 JR中央本線快速 名古屋行 (43分) 16:00着 16:33発	名古屋駅 JR新幹線 のぞみ168号 東京行 (97分) 17:16着 17:29発	東京駅 JR新幹線 はやぶさ43号 新函館北星行 (165分) 19:06着 19:20発	八戸駅 84:08着

多治見市陶磁器意匠研究所	
視察時間	13:00～15:30
所在	〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町二丁目77-77
施設名	多治見市陶磁器意匠研究所（市営施設）
担当者	菊本 様（女性）
連絡先	0572-22-4731

令和7年3月21日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 上 条 幸 哉



調査視察等報告書

令和6年11月25日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|--|
| 1 旅行者 | 上 条 幸 哉 議員 |
| 2 期 間 | 令和6年11月27日（水）～ 令和6年11月28日（木） |
| 3 場 所 | 岐阜県多治見市 |
| 4 行 程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 47,770円（JR代、宿泊代）
1,660円（タクシー代 ※比較対象外） |
| 6 概 要 | 別紙のとおり |

上条議員（自由民主・無所属クラブ） 政務活動による視察行程

■日程 令和6年11月27日（水）～令和6年11月28日（木）

■場所 岐阜県多治見市

月日	行程					宿泊先
11/27 (水)	八戸駅 JR新幹線 はやぶさ24号 東京行 13:07発	東京駅 JR新幹線 のぞみ47号 博多行 15:04着 15:12発 (177分) 631.9km	名古屋駅 JR中央本線快速 中津川行 17:48着 18:01発 (36分) 36.2km	多治見駅 JR新幹線 のぞみ47号 博多行 18:43着 18:50発 (96分) 366.0km	信泊先 移動 19:00着	多治見市内
11/28 (木)	信泊先 移動	多治見市陶磁器意匠研究所 13:00～15:30	多治見駅 移動	名古屋駅 JR中央本線快速 名古屋行 17:10着 17:29発 (43分) 36.2km	東京駅 JR新幹線 のぞみ168号 東京行 19:06着 19:20発 (97分) 366.0km	八戸駅 JR新幹線 はやぶさ43号 新函館北斗行 22:05着 (165分) 631.9km

多治見市陶磁器意匠研究所	
視察時間	13:00～15:30
所在	〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町二丁目77-77
施設名	多治見市陶磁器意匠研究所（市営施設）
担当者	菊本 様（女性）
連絡先	0572-22-4731

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	(0-1(3))
領収書等貼付欄					
領収書 Receipt 領収年月日 2024.11.28 金額 ￥4,920 (消費税等込み) 税10% 登録番号: T3180001031569 購入商品 J R乗車券類 (40704 1枚) 東海旅客鉄道株式会社 名古屋MV624発行 50705-01 印紙税申告納 付につき名古屋中村 税務署承認済 上条幸哉様 領収証 毎度ご乗車ありがとうございます。 車両番号 3824号 2024年11月28日 乗車料金 ￥1660 内消費税額 ￥150 消費税率 10.0% [迎車料金 ￥130含む] 上記の通り正に領収致しました。 登録番号: T7200001020846 東鉄タクシー株式会社 岐阜県多治見市田代町1丁目65番地 お問い合わせ等は下記営業所まで 多治見営業所 (多治見地区) (0572) 22-1211 土岐・瑞浪営業所 (土岐・瑞浪地区) (0572) 68-2277 東部営業所 (中津川・恵那地区) (0579) 78-2135					

宿泊先～

視察先

領収証

2024年11月27日

上条幸哉様

金34,350円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

東京868 No.000016

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-1(3)
-----	-------	-----	----	------	---------

ご利用明細書

くれたけインプレミアム多治見駅前

Address: 岐阜県多治見市本町一丁目121番

TEL: 0572-21-5411

E-MAIL: tajimi@kuretake-inn.com

発行元: 株式会社呉竹荘ホテルズ

登録番号: T2080401023367

宛名 上条 幸哉 様			#0017062024111096
ご到着日 11/27	ご出発日 11/28	備考	発行日時 2024/11/27 20:49:21

ご利用明細	部屋番号	ご利用日	ご利用金額	お預り金額	備考
宿泊費 VISA	1008	11/27	¥8,500	¥8,500	

※は軽減税率対象商品

10%対象税込計(内税)

¥8,500 (¥772)

ご利用金額 (税込)

¥8,500

お預り金額

¥8,500

ご請求金額

¥0

領収書

上条 幸哉 様

10%対象税込計(内税)

¥8,500 (¥772)

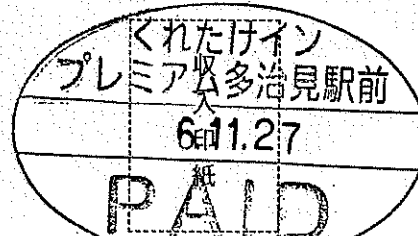
¥8,500

(税込)

但し ご宿泊代として

発行日時: 2024/11/27 20:49:21

#0017062024111096



くれたけインプレミアム多治見駅前

Address: 岐阜県多治見市本町一丁目121番

TEL: 0572-21-5411

E-MAIL: tajimi@kuretake-inn.com

発行元: 株式会社呉竹荘ホテルズ

登録番号: T2080401023367

Ishoken 多治見市陶磁器意匠研究所 視察報告

「美濃焼」は多治見市、土岐市、瑞浪市にまたがる、日本最大の陶磁器産地エリアにおいて作られている。日常食器から、建材のタイル、茶道で用いられる抹茶茶碗、芸術作品の立体造形まで、その幅は広く、これまで、さまざまな陶磁器を生み出してきた。その歴史は7世紀に生産された須恵器までさかのぼり、今日まで、実に1300年にわたり陶磁器生産を続けて来たということになる。

今回視察させて頂いた Ishoken 多治見市陶磁器意匠研究所は、そのような歴史ある美濃焼産地にあって、1959年10月にその前身としてスタートした美濃焼上絵付研究所(陶器のデザイン・上絵に関する研究機関)が、多治見市内に移管されたことがその始まりである。

Ishoken 多治見市陶磁器意匠研究所の設立目的として、次の3つが挙げられる。

- ① Industry Suport 新商品の開発や、安心安全な製品の流通を支える、デザイン、技術支援。
- ② International exchange 世界に向けた美濃焼の魅力の発信と、多様性のある研修環境をつくる国際交流。
- ③ Human Resource Development 焼き物の作り手を志し、全国・海外から集まった人材の育成。

以上の3点である。

1960年に ishoken の研修プログラムを修了した第1期生が卒業して以来、これまで、1,000名を超える卒業生が、陶芸家やデザイナーとなって活躍しているという。

以下に、ご担当の方のご説明の中で、感銘を受けた点を、これら3つのポイントから列挙する。

① Industry Suport について

○単なる研究機関にとどまらず、市内の飲食器製造、タイル製造他、市内の業界団体と共同で新商品のデザイン開発に取り組む等、地域産業を後支えする成熟した機関となっている。

○安心・安全な陶磁器製品の製造・流通を目的として、鉛・カドミウム溶出試験や、熱衝撃試験といった、専門性の高い試験や相談業務も行っており、長きに渡り蓄積してきた伝統と技術を集約する、業界のセンター的な機能を有していた。

② International exchange について

○多治見市とタイアップし、陶磁器の魅力を世界に向けて発信し、陶芸家や陶磁器産

業に携わる若者が世界から集まるように取り組まれており、2,017年から外国人特別選考を設けている。

○2,023年には、IAC 国際陶芸学会に加盟し、多治見市に限らず、世界各地で、陶芸学会員や、焼き物関係者と交流を深めながら、国際的な陶芸振興に努められている。

③ Human Resource Development

○伝統ある美濃焼の地で、70年の長きに渡って焼き物に携わる人材を、本気で育成することを目指し取り組んでいる。

【まとめ】

驚くべきは、まず第一に、技術の研究・開発を軸にしながら、地域の代表産業の振興と後方支援に取り組まれている点である。

また、もう一つは、やはり人材育成の取り組みである。これについては、本気で「焼き物」を生業とする人材育成に取り組んでおられ、これを移住・定住促進策の観点から考える時、志ある若者に地域に永住してもらうための「職業訓練」の機能をも有しており、さらには、この取り組みが、郷土が日本や世界に誇る陶芸・陶磁器に関する伝統継承にも貢献している点、大いに感銘を受けた。

それにしても、そこには1,300年に渡り引き継がれて来た伝統・技術があるのだ。これまで、試行錯誤しながら、技術の革新と継承に努めて来られた先人先達のご努力に思いを致す時、その偉大さとある種の羨ましさに、ため息が出る思いだった。

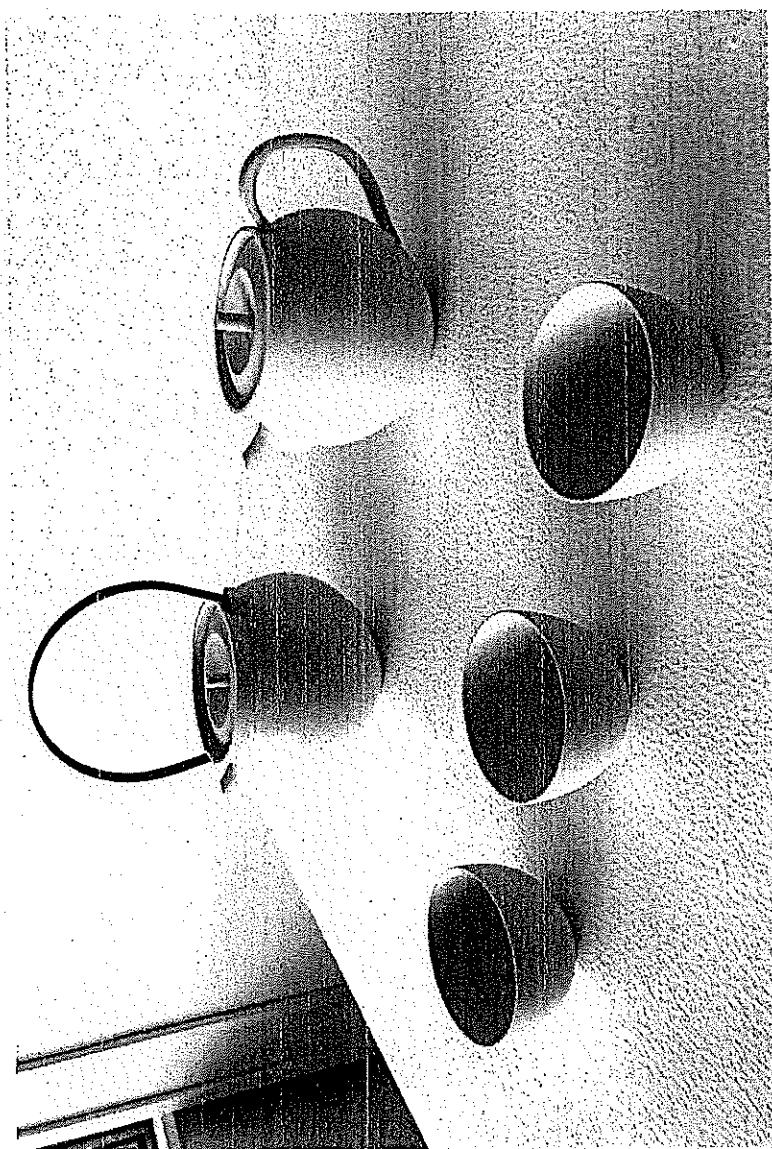
翻って、当市を考える時、誇るべき各種伝統工芸を有しており、どちらかというと、それを観光資源として活用している。しかし、今回の学びから、それだけにとどめるのではなく、○郷土の伝統の継承と、○そのための人材育成、そして、○それらの取り組みが、地場産業の振興に貢献するよう、さらには、○定住促進の1つの力となるよう、多治見市の事例を学び、当市においても、それらの可能性を模索すべきであると感じた。そのための研究に、官民を挙げて、取り組んでまいりたいと思う。今回の学びを、今後の市政発展に向け、大いに参考としていきたい。

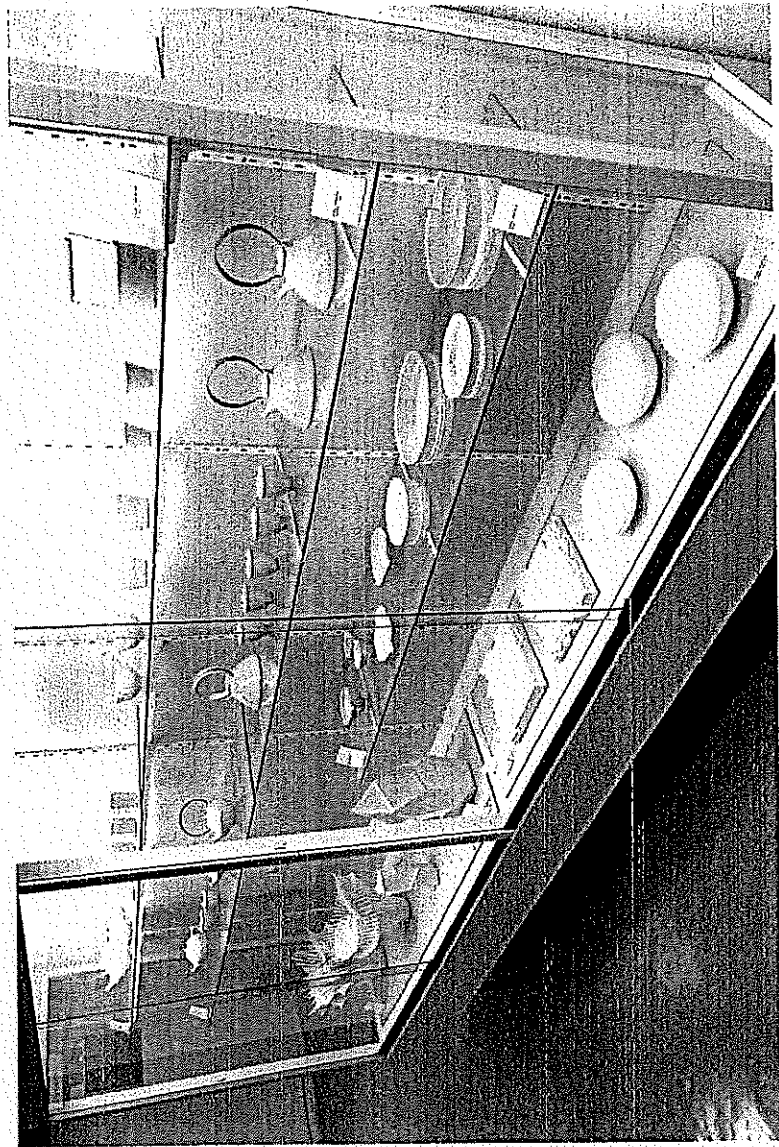
最後に、終始ご丁寧な、かつ詳細にわたり、当方の質問にお答え頂き、また、ご案内頂いた菊本様に、心から感謝申し上げる次第である。

以 上













第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年11月29日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 豊 田 美 好



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 豊 田 美 好 議員
- 2 期 間 令和6年12月5日(木)
- 3 場 所 (株)プラザクリエイト本社(東京都中央区)
- 4 目的及び内容 グランピング施設開発について、
- 5 支出可能額(上限額) 40,960円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行き	12/5	八戸駅発	8:11	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	12/5	東京駅着	11:04	早見表					
帰り	12/5	東京駅発	16:20						
	12/5	八戸駅着	19:08						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	631.9k	9,790	17,620	八戸⇄東京（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	12/5 閑散期割引
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				宿泊料					
小 計							40,960		
合 計（小計×人数）							40,960	1 名	

自由民主・無所属クラブ 行程

日程：令和6年12月5日（木）

行先：東京都中央区

【豊田 美好 議員】

月 日	行 程			
12月5日 (木)	8:11発 八戸	→ (はやぶさ10号)	→ 11:04着 東京	→ (移動) → 13:30～ (株) プラザクリエイト
	→ (移動)	→ 16:20発 東京	→ (はやぶさ35号)	→ 19:08着 八戸

令和6年12月12日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 豊 田 美 好



調査視察等報告書

令和6年11月29日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

1 旅行者 豊 田 美 好 議員

2 期 間 令和6年12月5日(木)

3 場 所 (株) プラザクリエイト本社 (東京都中央区)

4 行 程 八戸～JR～東京～JR～八戸

5 支出額 21,700円

6 概 要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅 費	整理番号	(1-1(1))
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2024年12月 3日

豊田美好 様

金21,700円

ただし、乗車券類代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.000010

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渡 谷
税 務 署 承 認 済

フジゲキエー

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

(別紙)

視察日時：2024年12月5日(木)～12月5日(木)

13:30～14:30 (株)プラザクリエイト

視察先：(株)プラザクリエイト代表取締役 新谷隼人氏との意見交換

視察担当者：(株)プラザクリエイト代表取締役 新谷隼人氏

視察内容：グランピング施設開発について

グランピング施設開発による観光集客について

11月14日に「ザ・グランピング伊勢志摩BASE」を視察させて頂きましたが
新谷隼人社長が滞在していられませんでしたので、日を改め本日、本
社にお伺い致しました。

プラザクリエイトがグランピング事業に取り組み始めたのは2022年1月に

長野県の飯島町が管理する指定公園内の一画に、グランピング宿泊施設を開
発したことから始まったとのことでした。

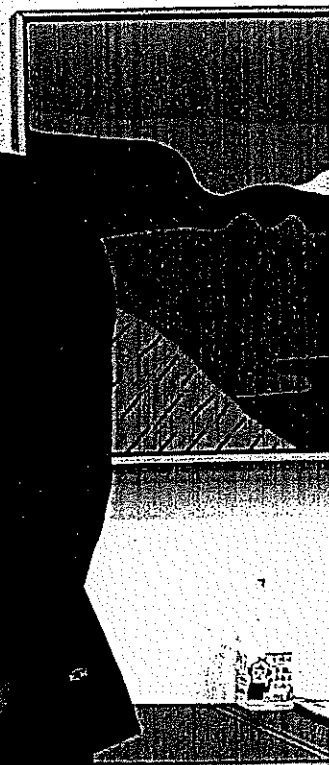
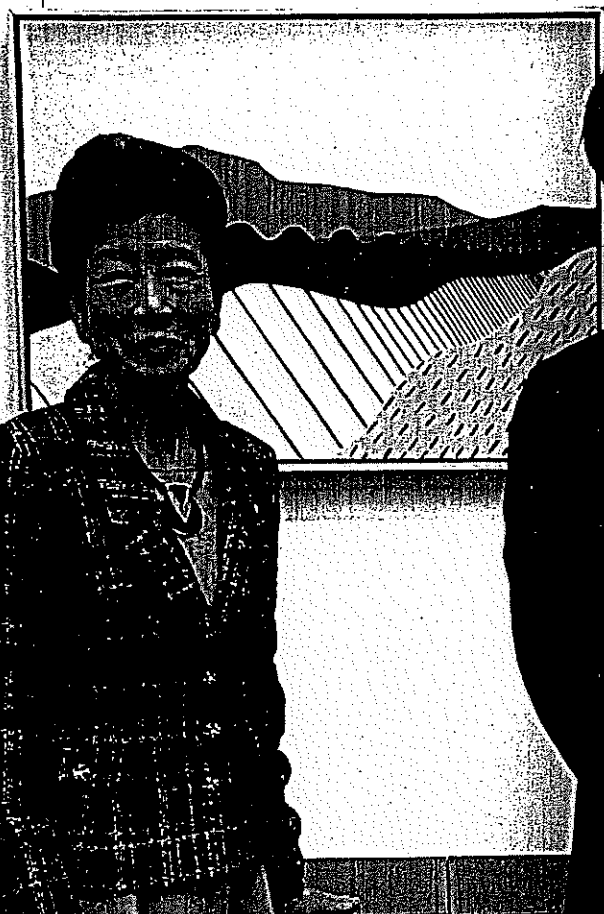
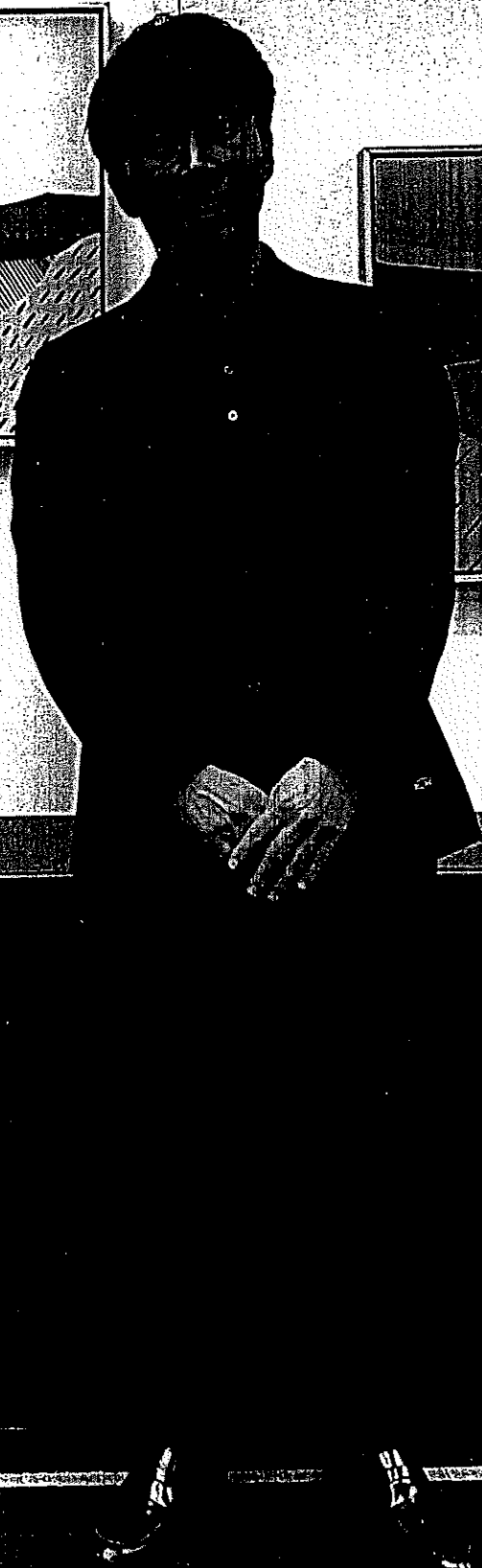
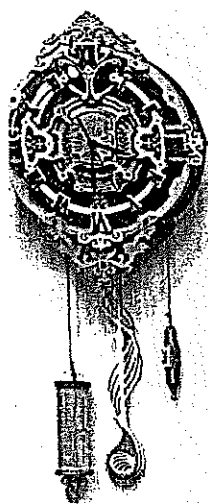
事業内容については、別紙添付書類にて展示されておりますので省略させて

頂きますが、グランピング事業については、2年で初期投資回収できた

とのことであり、普通の営業用建物と違って、建築指導面にも基準が低く
どこにでも取り付けられるとのこと。何より、価格面での負担が低いのが魅
力である。

長谷川牧場は国立公園内に一部位置する為、あらたに、建物を容易に建てる
ことは難しいですが、グランピング施設であれば許されるようですので、十
分に検討の余地があることが判明いたしました。

今後、観光面集客ツールとして期待がかけられるとの手ごたえが持てた有
意義な視察でした。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年11月26日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 豊 田 美 好
山 之 内 悠

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 豊 田 美 好 議員
山 之 内 悠 議員
- 2 期 間 令和7年1月8日(水)～10日(金)
- 3 場 所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市
- 4 目的及び内容 岡山県岡山市
岡山連携中枢都市圏について
兵庫県姫路市
播磨圏域連携中枢都市圏について
- 5 支出可能額（上限額） 211,520円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【豊田議員・山之内議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	1/8	本八戸駅発 8:45	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	1/8	岡山駅 着 15:46	早見表					
帰	1/10	姫路駅 発 8:53						
	り	1/10						本八戸駅着 15:34
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	1,370.9k	15,620	28,100	本八戸⇄岡山（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京（631.9k）
					1	6,570	6,570	東京→岡山（732.9k）
					2	△200	△400	閑散期割引（1/8）
					1	1,760	1,760	岡山→姫路（88.6k）
					1	△200	△200	閑散期割引（1/9）
					1	6,030	6,030	姫路→東京（644.3k）
				急				
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京（631.9k）
					1	6,600	6,600	東京→岡山（732.9k）
					1	1,300	1,300	岡山→姫路（88.6k）
					1	6,600	6,600	姫路→東京（644.3k）
			航空運賃					
			岡電バス		2	120	240	岡山駅⇄岡山市役所前
			神姫バス		2	210	420	姫路駅⇄姫路市役所前
			宿泊料		2	12,500	25,000	1/8 岡山市、1/9 姫路市
			小 計					105,760
合 計（小計×人数）					211,520	2名		

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 視察行程

■日程 令和7年1月8日(水)～令和7年1月10日(金)

■場所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市

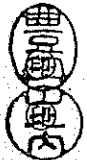
【豊田議員・山之内議員】

月日	行程					宿泊先
1/8 (水)	本八戸駅 JR八戸線 八戸行 (10分) 6.1km	八戸駅 JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 (179分) 631.9km	東京駅 JR新幹線はやぶさ 33号 博多行 (196分) 732.9km	岡山駅 徒歩 (5分)	宿泊先	岡山市内
1/9 (木)	宿泊先 9:10発	岡山駅 JR新幹線はやぶさ 84号 東京行 (181分) 644.3km	岡山市役所前 (バス停) 9:30着 9:33発 (4分) 1.2km	岡山市役所 (バス停) 9:45着 9:52発 (1分)	岡山市役所前 (バス停) 11:16着 11:25発 (9分) 1.2km	岡山駅 JR新幹線ひかり 510号 東京行 (31分) 88.6km
1/9 (木)	姫路駅 13:07着 13:25発 神姫バス 姫路市役所南行 (3分) 1.2km	姫路市役所前 (バス停) 13:28着 13:28発 (1分)	姫路市役所 徒歩 (1分)	姫路市役所前 (バス停) 15:31着 15:32発 (1分)	姫路駅 徒歩 (5分)	宿泊先
■岡山市役所 (9:45～11:15) 岡山連携中枢都市圏について ・担当者 松林 様 ・連絡先 086-803-1536 ・所在 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 ■姫路市役所 (13:30～15:30) 播磨圏域連携中枢都市圏について ・担当者 多田 様 ・連絡先 079-221-2034 ・所在 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 本庁舎会議棟3階						
1/10 (金)	宿泊先 8:30発	姫路駅 JR新幹線はやぶさ 23号 新国能北平行 (164分) 631.9km	東京駅 JR新幹線はやぶさ 84号 東京行 (181分) 644.3km	八戸駅 JR八戸線・秋行 (8分) 6.1km	本八戸駅	

令和7年1月22日

会派名 自由民主・無所属クラブ
代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 豊 田 美 好
山之内 悠



調査視察等報告書

令和6年11月26日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|---|
| 1 旅行者 | 豊 田 美 好 議員
山之内 悠 議員 |
| 2 期 間 | 令和7年1月8日(水)～10日(金) |
| 3 場 所 | 岡山県岡山市、兵庫県姫路市 |
| 4 行 程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 199,570円（JR代、宿泊費）
1,300円（タクシー代 ※比較対象外） |
| 6 概 要 | 別紙のとおり |

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 視察行程

■日程 令和7年1月8日(水)～令和7年1月10日(金)

■場所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市

月日	行程					宿泊先
1/8 (水)	本八戸駅 JR八戸線 八戸行 8:45発	八戸駅 JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 9:05発	東京駅 JR新幹線のぞみ 33号 博多行 12:08着 12:30発	岡山駅 移動	岡山駅 15:46着	信泊先
1/9 (木)	信泊先 9:30発	岡山市役所 移動	岡山駅 JR新幹線ひかり 510号 東京行 11:30着 12:36発	姫路駅 移動	姫路市役所 13:30着 15:30発	信泊先
■岡山市役所 (9:45～11:15) 岡山連携中枢都市圏について ・担当者 松林 様 ・連絡先 086-803-1536 ・所在 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 ■姫路市役所 (13:30～15:30) 播磨圏域連携中枢都市圏について ・担当者 多田 様 ・連絡先 079-221-2034 ・所在 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 本庁舎議会棟3階						
1/10 (金)	信泊先 8:30発	姫路駅 徒歩	東京駅 JR新幹線のぞみ 84号 東京行 11:54着 12:20発	八戸駅 JR八戸線・数行	本八戸駅 15:36着	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	12-1(1)
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No. 123678

2025 年 1 月 22 日

豊田美好

様

金 額		¥ 9,734.00
-----	--	------------

但し1/8~10.JR福井県と12

10%対象(税込) 9,734.00 0%対象

内消費税 884.9 円 上記の金額正に領収致しました。



(後連速振新市園) 4社

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

北日本トラベル 株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151代



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 様

令和6年12月12日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-6161

担当 [REDACTED]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 4名 計 4名
 ご旅行期間 令和7年1月8日～1月10日
 ご旅行方面 岡山県岡山市・兵庫県姫路市
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 389,360 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	4	80,100	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	320,400	1/8本八戸/八戸～東京～岡山(往復)	
宿泊代	4	9,840	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	39,360	1/8 岡山アパルトメントホテルプラザ	
	4	7,400	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	29,600	1/9 コンフォートホテル姫路 ※1/7 坂本議員キャンセル	
明細金額小計					389,360	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					389,360	消費税10% 35,396円

特記事項 宿泊：シングルルーム 朝食付

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	12-2(6)
----	-------	----	----	------	---------

領 収 証

2024年12月12日

山之内悠 様

金80,100円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.000018

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

山之内悠 様

御利用書(領収証)

駅より徒歩

2025年01月09日

現金お支払分は、領収証に
かえさせていただきます。車番 769
運賃 1300円

計 1300円

消費税率 10.0%

<お支払い内訳>

現金 1300円
その他 0円

登録番号: T2260001001192

両備グループ
岡山両備タクシー(株)
岡山市中区藤原46
お忘れ物のお問い合わせは...
両備タクシーセンター
TEL 086-262-3939

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	12-2(6)
-----	-------	-----	----	------	---------

010865255606

領 収 書

日付 2025/01/08

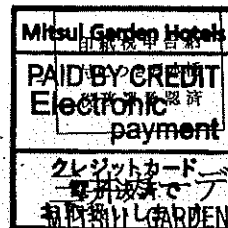
お名前 山之内 悠

様

金額

¥12,180-

上記金額確かに領収いたしました。
表示金額は消費税等を含んでおります。



株式会社三井不動産ホテルマネジメント
作成地住所
東京都中央区日本橋本町2丁目2番5号

三井ガーデンホテル岡山
MITSUI GARDEN HOTELS

〒700-0024
岡山県岡山市北区駅元町1-7
TEL. 086-235-1131 FAX. 086-225-8831
URL. <https://www.gardenhotels.co.jp>

領 収 書

2025/01/09 010902115069

お名前 山之内 悠

様

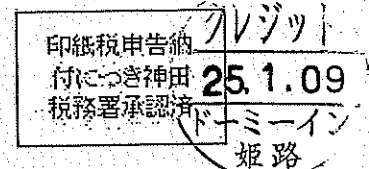
金額

¥9,950-

但し

上記明細通り

上記金額正に領収致しました。



株式会社 共立メンテナンス

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

視察報告書

1. 日時

令和7年1月9日(木) 9:45～11:15

2. 視察地・視察内容

岡山県岡山市「岡山連携中枢都市圏について」

3. 視察対応

岡山市政策局政策部政策企画課

課長 高木 真二郎 氏

課長補佐 上田 雅 貴 氏

4. 参加議員

豊田美好、山之内悠

5. 視察目的

岡山連携中枢都市圏の取り組みや、岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級の運営方法について調査し、地域の課題解決や教育支援の在り方を学ぶことを目的とする。また、当市における広域連携の可能性や教育支援の拡充について検討するための参考とする。

6. 視察調査概要

岡山連携中枢都市圏では、中心市と周辺市町村が協力し、以下の重点施策に取り組んでいる。

- ・ 人口減少や高齢化への対応
医療・福祉の連携を強化し、住民がどの地域に住んでいても質の高いサービスを受けられる体制を構築している。
- ・ 観光振興と地域経済活性化
地域特産品の販売促進や広域観光ルートの開発を通じた経済波及効果の創出を図っている。
- ・ 交通インフラの整備
公共交通の最適化と広域交通網の充実による利便性向上を目指している。

また、岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級についても説明を受けた。この学級では、さまざまな事情により義務教育を修了できなかった人々に教育機会を提供することを目的とし、外国籍の方や高齢者も含め幅広い方々の入学が予定されている。

7 所感

岡山連携中枢都市圏の取り組みは、広域連携による地域全体の活性化を具現化したモデルケースであり、大きな示唆を得た。特に以下の点が印象的であった。

1. 医療・福祉の連携強化

人口減少や高齢化に直面する中、住民がどの地域にいても必要なサービスを受けられる体制を整備している点は、当市にとっても参考になる。効率的な資源配分と市町村間の役割分担が進んでいることが特徴的である。

2. 観光振興と経済活性化の取り組み

地域特産品を活用したプロモーションや広域観光ルートの整備は、地域全体の魅力を上げると同時に、観光客誘致にも成功している。この施策は、当市の特産品を活用した経済施策にも応用可能性がある。

3. 交通インフラ整備の重要性

公共交通の利便性を向上させ、住民だけでなく観光客にも快適な移動手段を提供する施策は、広域連携を支える基盤として重要である。当市でも広域交通の再編を検討する意義がある。

4. 行政間の合意形成プロセス

多様な市町村が連携する際の課題として、意見調整や資源の共有が挙げられるが、それを乗り越えるための丁寧な対話と共有意識の醸成が効果を上げている。この手法は、当市における周辺自治体との連携強化においても重要な教訓となる。

岡山連携中枢都市圏の成功例は、当市における広域連携のモデルとして非常に参考になるものであった。

8. 今後の提案

1. 当市における連携中枢都市圏の実現可能性を検討し、他都市の成功事例を基にした計画立案を進める。
2. 連携中枢都市圏形成の課題と成功要因についての調査を深め、関係自治体との協議を開始する。
3. 専門家や視察対応者を招いた研修会を開催し、連携強化のための具体策を検討する。

岡山市議会事務局 調査課 政策調査係

担当 松林 秀和
MATSUBAYASHI Hidekazu

〒700-8544 岡山市北区大井一丁目1番1号
Tel: 086-803-1536 Fax: 086-233-1186
E-mail: hidekazu.matsubayashi@city.okayama.lg.jp
URL: http://www.city.okayama.lg.jp

岡山市 岡山市議会事務局 調査課

担当 芳原 保
HOBARA Tamotsu

〒700-8544 岡山市北区大井一丁目1番1号
TEL: 086-803-1536
FAX: 086-233-1186
E-Mail: tamotsu.hobara@city.okayama.lg.jp

岡山市 政策局政策部政策企画課

担当 高木 真一郎
Takagi Shinjiro

〒700-8544 岡山市北区大井一丁目1番1号
TEL: 086-803-1040
E-mail: shinjirotakagi@city.okayama.lg.jp

岡山市 政策局 政策部 政策企画課

担当 上田 雅貴
UEDA Masataka

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

〒700-8544 岡山市北区大井一丁目1番1号
TEL: 086-803-1040 FAX: 086-803-1732
E-mail: masataka.ueda@city.okayama.lg.jp



視察報告書

1. 日時

令和7年1月9日(木) 13:30～15:30

2. 視察地・視察内容

兵庫県姫路市「播磨圏域連携中枢都市圏について」

3. 視察対応

姫路市政策局ひめじ創生戦略室

主幹 木村 規彦 氏

主事 走出 有紀 氏

4. 参加議員

豊田美好、山之内悠

5. 視察目的

播磨圏域連携中枢都市圏の取り組みを調査し、地域間連携の強化や、経済・福祉の充実に向けた施策の具体的な運用方法を学ぶことを目的とする。また、姫路市が進めている、地域の課題解決のための実践的な取り組みとその効果についても調査する。

6. 視察調査概要

播磨圏域連携中枢都市圏では、姫路市を中心に周辺の市町と協力し、以下の施策が進められている。

○ 地域情報発信とブランド確立

播磨圏域の情報発信強化と、地域ブランドの確立を推進。これにより、播磨圏域の魅力を外部に伝え、地域への訪問者や投資を促進。

○ 企業誘致の推進

企業誘致の取り組みを強化し、地域経済の活性化を目指す。特に、姫路市周辺の優れた交通アクセスを活かして企業活動を支援。

○ 広域観光の推進

播磨圏域の観光資源を結びつけた広域観光ルートの開発とプロモーションを行い、観光客の誘致を推進。

○ 姫路市文化コンベンションセンターの整備

文化や商業活動の促進を図るため、姫路市文化コンベンションセンターの整備を進めている。

○ 手柄山駅の整備

地域の交通利便性を向上させるため、手柄山駅の整備を進め、周辺地域の活性化を図っている。

- 公立夜間中学による就学機会の提供
地域住民に対して、就学機会を提供するための公立夜間中学の設立と運営。
- 図書館の相互利用促進
周辺市町村との連携を強化し、図書館資源の相互利用を促進。
- 救急搬送支援システムの広域化
もっとも注目される施策のひとつは、救急搬送支援システムの広域化であり、複数の市町が連携し、効率的で迅速な救急搬送体制を構築している。姫路市を中心に広がるこのシステムは、地域の医療機関や消防機関との協力を強化し、搬送のスムーズさを向上させるとともに、救命率の向上を目指している。これにより、救急対応の品質が地域全体で均等に保たれることとなり、住民の生命を守るための重要な基盤となっている。
- 広域連携バス路線網の維持・形成
広域的な交通網の充実を目指し、バス路線の整備・維持を行い、住民の移動の利便性を向上させる。

7. 所感

播磨圏域連携中枢都市圏の施策は、地域間での強固な連携と効率的な資源活用を前提とした非常に進んだ取り組みであり、多くの示唆を得た。特に以下の点が印象に残った。

1. 地域情報発信とブランド確立

播磨圏域では、地域の特性を活かした情報発信とブランド化が成功しており、これにより地域経済が活性化している。このアプローチは、当市でも同様に特産品や観光資源を活かす施策に役立つと考えられる。

2. 企業誘致の推進

姫路市が進める企業誘致の取り組みは、地域の雇用創出に貢献しており、当市でも産業誘致を通じた地域経済の発展を目指すべきだと感じた。

3. 救急搬送支援システムの広域化

救急搬送支援システムの広域化は、特に注目すべき施策であり、周辺市町との連携によって迅速かつ効率的な対応が可能となっている。これは、住民の生命を守るための重要なシステムであり、当市でも広域的な医療体制の強化が急務であると感じた。

8. 今後の課題と提案

1. 人口減少への対応

播磨圏域でも人口減少が課題となっており、この問題に対応するためには、地域間連携をさらに強化し、住民のニーズに応じたサービスを提供することが不可欠である。

2. 地域産品のブランド化

地域特産品のブランド化を進め、外部市場への売り込みを強化することで、地域経済の自立を支える施策を講じるべきである。

3. 広域観光の推進

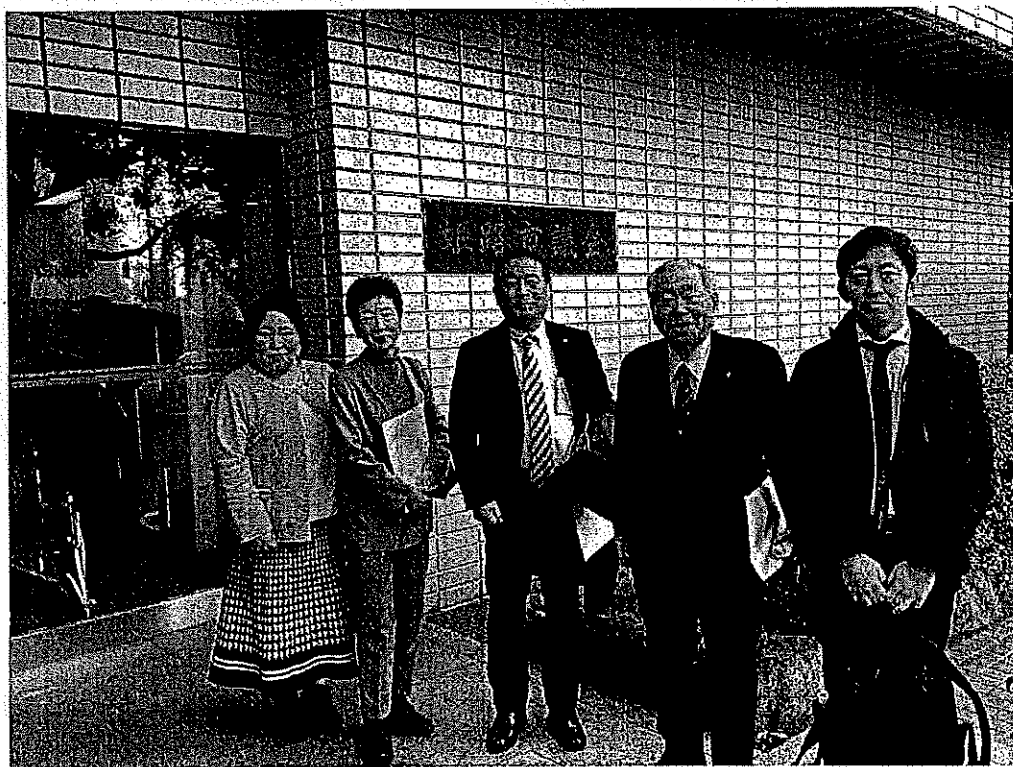
観光資源を有効活用し、広域観光を推進するためのネットワーク形成が今後の鍵となる。

4. 医療福祉商業の生活機能確保

高齢化社会を見据えた医療・福祉・商業サービスの充実を図るとともに、空き家問題や公共施設の統廃合など、資源の効率的な活用を進める必要がある。

5. 広域連携事業の強化

今後、市民サービスを低下させないためにも、広域連携事業の一層の推進が重要であり、他市との協議を通じて具体的な施策を練るべきである。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年1月14日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 豊 田 美 好



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 豊 田 美 好 議員
- 2 期 間 令和7年1月22日(水)～令和7年1月23日(木)
- 3 場 所 (1) (株) アサヒコーポレーション (静岡県浜松市)
(2) (有) コスモグリーン庭好 (静岡県浜松市)
(3) (株) HACK (静岡県浜松市)
- 4 目的及び内容 (1) (株) アサヒコーポレーション (静岡県浜松市)
長谷川牧場事業について
(2) (有) コスモグリーン庭好 (静岡県浜松市)
社会教育地域について
(3) (株) HACK (静岡県浜松市)
街づくりについて

5 支出可能額（上限額） 72,000円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行き	1/22	八戸駅発	7:17	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	1/22	浜松駅着	12:27	早見表					
帰り	1/23	浜松駅発	15:07						
	1/23	八戸駅着	20:12						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	889.0k	11,880	21,380	八戸⇄浜松（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	3,400	6,800	東京⇄浜松 257.1k
						4	△200	△800	1/22, 1/23 閑散期割引
					急				
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
						2	4,190	8,380	東京⇄浜松 257.1k
				宿泊料		1	12,500	12,500	浜松市内泊
				小 計		72,000			
				合 計（小計×人数）		72,000	1名		

自由民主・無所属クラブ 行程

日程：令和7年1月22日（水）～23日（木）

行先：静岡県浜松市

【豊田 美好 議員】

月 日	行 程
1月22日 (水)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/11:03発 東京 → (ひかり509号) → 12:27着 浜松 → (移動) → 13:00～15:00 (株) アサヒコーポレーション (視察) → (移動) → 18:00～20:00 (有) コスモグリーン庭好 (視察) → (移動) → 浜松市内泊
1月23日 (木)	11:00～12:00 (株) HACK (視察) → (移動) → 15:17発 浜松 → (ひかり510号) → 16:42着/17:20発 東京 → (はやぶさ39号) → 20:12着 八戸

令和7年1月30日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森園秀一様

氏 名 豊田美好



調査視察等報告書

令和7年1月14日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 豊田美好議員
- 2 期 間 令和7年1月22日(水)～令和7年1月23日(木)
- 3 場 所 (1) (株) アサヒコーポレーション (静岡県浜松市)
(2) (有) コスモグリーン庭好 (静岡県浜松市)
(3) (株) HACK (静岡県浜松市)
- 4 行 程 1/22 八戸～JR～東京～JR～浜松
1/23 浜松～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 57,600円
- 6 概 要 別紙のとおり

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年 1月16日

豊田 みよ 様

金28,640円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000013

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領 収 証

2025年 1月16日

豊田 みよ 様

金28,960円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000012

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

(別紙)

視察日時 2025 年 1 月 22 日 (水) ～ 23 日 (木)	
22 日 13:00～15:00 (株)アサヒコーポレーション	
18:00～20:00 濱しょう	
23 日 11:00～12:00 HACK	
視察先	: 22 日 (株)アサヒコーポレーション (有)コスモグリーン庭好
	23 日 HACK 活動拠点
視察担当者	: 22 日 (株)アサヒコーポレーション代表取締役 竹内悠人氏
	(有)コスモグリーン庭好 三輪政彦氏
	23 日 HACK 代表取締役 高林健太氏
視察内容	:
① アサヒコーポレーション 長谷川牧場事業について	
昨年 11 月浜松市公売入札により、長谷川牧場が存続可能となり、一段落つい	
たが、アハルテケ馬繁殖事業を維持していくための財政面での厳しさが伴い	
7 年前、当初、長谷川牧場整備にご尽力頂いた経緯もあり、(株)アサヒコーポ	
レーションに再度、長谷川牧場事業を維持するためにご支援、ご協力頂きたい	
との旨の依頼に本社にお伺い致しました。	
最初は「八戸は遠いし、余程、力を入れないと採算とれる事業ではないので」	
お断りされましたが、アハルテケ馬の希少価値と種差エリア観光開発による	
集客力アップの為に、何とかご支援、ご協力頂きたいと切にお願い致しましたところ	
「それでは社内事業部門として何とか検討してみましよう」とのお返事を	

(別紙)

頂戴出来、有難く受けとめて参りましたが、事業化の難しさをクリアする為には、私の

目から見ても現状の大幅な経営改善が不可欠と考えます。

とりあえず、アサヒコーポレーションの今後の取組みに期待を抱き、静岡まで来

た甲斐はあったものと考えます。

(別紙)

② 「社会教育地域」について

(有)コスモグリーン庭好

全国的農業共通課題である耕作放棄地、その背景にある農家の高齢化、担い手不足、コスト事由等の問題、そして少子高齢化や人口減少によって空き家増加等により、消滅可能自治体リストに入ってしまった御前崎を憂えてこの地域資源を有用化することで、次の時代の暮らしを体験する地域であり、そして多様な関わり方を持てる社会教育地域へと発展させ、住み続けるようにしたいとの課題意識で、(有)コスモグリーン庭好は取り組まれています。

2016年には「全国農業会議所会長特別賞」に輝いております。

コスモグリーン庭好さんは、本業は、100年以上続く造園業ですが、農業参入し、ウナギの残渣を使用した堆肥を使って育てたサツマイモを「うなぎいも」としてブランド化させている。また、「浜松市農業経営塾」があり、部長はそこから^輩排出された塾生とのことでした。

当市においても「水産アカデミー」のみならず「農業アカデミー」を創設できと、^ねかながね考えておりましたので意を得たりの感でした。

また、空き家対策については、「古民家宿泊事業」や「シェアキッチン・シェアレストラン事業」「移住就農者向賃貸事業」に取り組み、解消したいとの構想を述べてくださいました。

三輪氏にお目にかかっている中、お声掛け下さったのか、浜松市副市長 山名裕様が、わざわざご挨拶に部屋までお越し下さり恐縮致しました。

(別紙)

今回は、耕作放棄地問題そして空き家対策構想において大きな学びがありましたので、

当市における農業問題解決策に提案して参りたいと考えております。

(別紙)

③ HACK「街づくり」について

静岡に来るにあたって偶然にも、新聞紙上で「HACK」の記事が掲載されておりましたので、早速に静岡の友人を通して視察が叶いました。

高架下を活用した「新川モール」を管理運営するのが(株)HACKである。

「新川モール」は、2022年4月に浜松市より再整備された公共空間で遠州鉄道の高架下を活用したまちなか居場所である。ここでは、イベントのみならず物品の販売、キッチンカーや屋台もあり、各種用途に応じて、市民が自由に使い、楽しめる空間づくりがなされている。

(別紙添付チラシ参考11月号)

八戸市「はっち」「マチニワ」機能がこれらにあたると思うが、指定管理で

「HACK」が企画運営全てを行っているとのことでした。従いまして、限られた予算の中で、いかに柔軟性をもって、効果的な活動展開を考えていかねばならないかを、絶えず意識して活動していかなければならないと、代表取締役 高林健太氏は熱く語って下さった。

14年以上経過した当市の「はっち」も、若い世代を巻き込んで、指定管理で運営していくべき時期にあると、今回の視察にて実感した次第である。